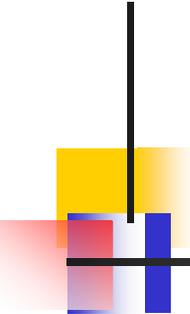


# WSISとネットのガバナンス

ユーザーが参加する  
自律・分散・協調型のガバナンスを求めて

JPNIC報告会  
2004年1月29日

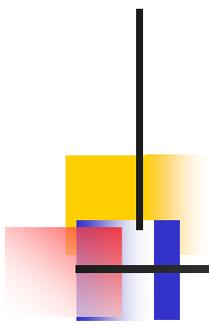
会津 泉  
<izumi@anr.org>



# 私とネットガバナンス / ICANN

---

- 96年モントリオール GLOCOMでパネルを「スポンサー」
- 98年IFWP APIA事務局長として幹事会に参加
  - アジアで唯一の法人として
  - ワシントン、ジュネーブのIFWP参加、WGのチェアも
  - シンガポールIFWP、主催・運営
- アジアからの声を届ける
  - MACで会員制度づくり
  - 2000年選挙の問題、2001年NAISで「見直し」
  - 2002年「改革」、2003年「ALAC」に選出
- 2003年WSISでICANNが問題に



# WSIS (世界情報社会サミット)

---

- **WSIS:国連主催のサミット**
  - 03年12月 ジュネーブ
  - 05年11月 チュニジア
- **「宣言案」と「行動計画」を策定**
- **なぜサミット？**
  - 開発とICT(デジタルデバイドをどうする?)
  - ICTの社会的影響の深化・拡大
  - 国連の使命、改革・・・

# アジア太平洋地域会合 (03年1月・東京)に協力

- **NGO・市民社会の対等参加を求めて**
  - 台湾NGO参加問題で紛糾
  - NGO実質参加で前進、海外からも高い評価
  - 「ネティズン」が国際社会に本格登場？



「非公式」ドラフティング会議をオープンに開催  
NGOも対等参加

# 台湾NGO参加問題で紛糾も

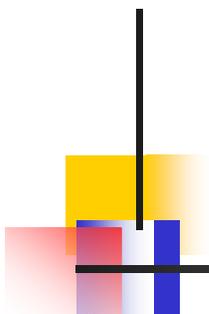


懸命に  
説得する  
総務省  
補佐

机を叩いて  
抗議する  
中国代表

# WSISでICANNが 最大の焦点(の一つ)に

- インターネット・ガバナンスの象徴に
- 市民社会・NGOで議論
  - 現状を肯定するか、しないか
  - 個人・市民に開かれていない 「改革」への批判
- 政府間で議論に
  - 国際組織か、政府間組織か
- 途上国側の不満
  - 中国、南ア、ブラジル、エジプト…
  - アメリカが大枠を決めている
  - 政府の参加が不十分、とくに途上国
  - 各国ccTLDの問題
- ITUの影、



# 7月パリ会議 政府のWGで議論

---

- 「政府間組織で」
  - 中国、南ア、ブラジル、インド…
- 「民間主導で」
  - EU、カナダ、オーストラリア、米国、日本…
- NGOも参加、議論もできた…
- 朝合意したはずだったが、
  - 合意案と違う案を議長に提出
  - EUなどが抗議、、、

# 7月最終案(2)

民間セクターがインターネットの発展の技術レベルで重要な役割をもち、今後も主導的役割を果たし続けることを認識しつつも、情報社会の基礎としてのインターネットの急速な発展は、すべての観点のなかでもとりわけ、安定性、安全性、競争、利用の自由、個人の権利とプライバシー保護、国家主権、そしてすべての人の平等なアクセスなどの公共の利益にかかわる政策の発展と調整には、政府が、他のすべての利害当事者と提携し、適切な政府間 / 国際組織を通して、主導的な役割を果たすことを求めている。

While recognizing that the private sector has an important role in the development of Internet at the technical level, **and will continue to take a lead role**, the fast development of internet as the basis of information society requires that governments, take a lead role, in partnership with all the other stakeholders, in developing and coordinating policies of the public interests related to stability, security, competition, freedom of use, protection of individual rights and privacy, sovereignty, and equal access for all, among all the other aspects, through appropriate [**intergovernmental**/international] organizations.]

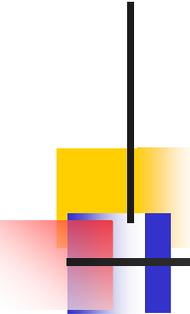
# 宣言案 9月当初案

42. 公共政策に関連し、国際的な性質をもつインターネットの諸問題は
- a) 政府および他の関心ある主体間で
  - b) 国連の枠組みの下にある適切な政府間組織を通じて / によって
  - c) 適切な政府間ベースで
  - d) 国際機関を通じて / によって
  - e) 適切で互いに合意された国際機関を通じて
- 調整されなければならない。

42. [Internet issues of an international nature related to public policies should be coordinated

Alternatives:

- a) between governments and other interested parties.
- b) through/by appropriate intergovernmental organizations under the UN framework.
- c) as appropriate on an intergovernmental basis.
- d) through/by appropriate international organizations.
- e) through appropriate and mutually agreed international organizations.]



# ICANNの何が問題か？

---

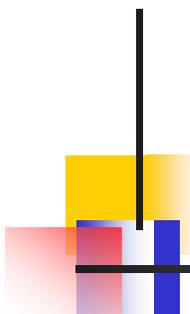
グローバル資源をだれがどう管理するのが正統なのか  
その原理、プロセスでの合意が(まだ)ない

インターネットガバナンスが国際政治の主流の場に  
It crossed the point of no return?

アメリカ(政府)のルート支配  
*Controlling the Root, by Milton Muller*

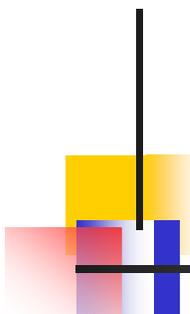
政府・政治家に技術の理解が必要不可欠に  
技術者も政治を理解することが必要不可欠に  
どちらも難しい・・・

“Consent of the Governed”, but where?  
利害当事者の参加が必然 利用者 = 市民の参加は？



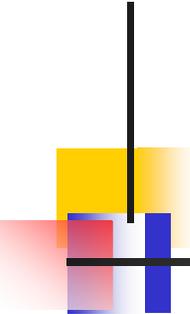
# 「国際政治」の主舞台に乗った

- WTOの流れと軌を一に
  - ブラジル、中国、南ア、、、
  - 単なる途上国の「不満」ではない
  - 新しい社会のヘゲモニー問題
- アメリカの支配、単独主義への反発
  - 911以降(共和党政権)、イラク戦争の流れへの危機感
  - 12月の本番直前まで交渉が続いた



# 2005年、WSISチュニスへ持ち越し

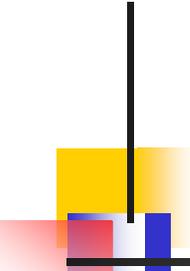
- 国連事務総長によるWG設置
  - 「インターネット・ガバナンス」の定義を
  - 管理体制について検討し、必要なら提案を
- 政府、民間産業界、市民社会がフルに参加する
  - だれがどう仕切るか、不明
  - テーマも、ICANNだけではない
- ITU、UN ICT TFが会議開催



## WSIS共同宣言 48.

---

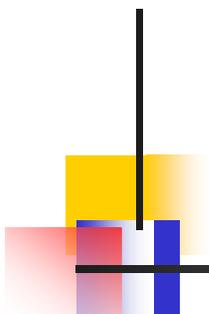
- インターネットは公衆が利用できるグローバルな施設へと進化し、そのガバナンスは情報社会の議題の中核課題を形成する。インターネットの国際管理は、政府、産業界、市民社会そして国際機関が完全に関与する、多国間(マルチラテラル)、透明そして民主的なものでなければならない。それは資源の公平な配分を保証し、すべての人々のアクセスを促進し、多言語主義を考慮しつつ、インターネットの安定的で安全な機能を保証するものでなければならない。



## 共同宣言 49.

インターネットの管理は技術および公共政策の両方の課題を含むもので、すべての利害当事者と関連ある政府間機関および国際機関が参加するものでなければならない。この観点に基づいて、以下が認められる。

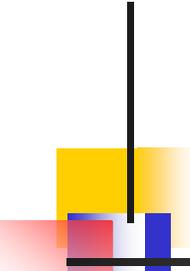
- a) インターネット関連の公共政策上の課題の政策的な権威は国々の主権に属する。国家は、国際的なインターネット関連の公共政策上の課題に対して権利と責任をもつ
- b) 産業界はインターネットの発展に対して、技術および経済の両面でこれまで重要な役割を果たし、今後もそれを続けることが期待される
- c) 市民社会もまたインターネットに関連する問題、とくにコミュニティの次元で、これまで重要な役割を果たしてきたし、今後もそれを続けることが期待される
- d) 政府間機関もインターネット関連の公共政策上の課題について、これまで促進支援機能を果たしてきたし、今後もそれを続けることが期待される
- e) 国際機関も、インターネット関連の技術標準および関連する政策の発展にこれまで重要な役割を果たしてきたし、今後もそれを続けることが期待される



## 共同宣言 50.

---

インターネットの国際ガバナンス問題は、コーディネートされた形で扱われるべきである。われわれは国際連合事務総長に対して、インターネット・ガバナンスについて、オープンで包括的なプロセスで、途上国、先進国の両方の政府、産業界、市民社会の完全で積極的な参加を保証する仕組みをもち、関連する政府間組織および国際組織とフォーラムも関与する、2005年までにインターネットのガバナンスについて調査し、適切と認められる場合には、行動のための提案を行うワーキンググループを設置するよう求める。



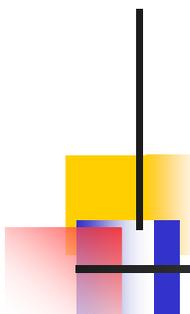
# 行動計画

(国連事務総長が設置するワーキンググループは)

- i. インターネット・ガバナンスについての作業上の定義を作成する。
- ii. インターネット・ガバナンスに関連の深い公共政策課題を特定する。
- iii. 途上国および先進国の双方の政府、既存の政府間機関および国際機関その他のフォーラム、産業界そして市民社会のそれぞれの役割と責任について、共通理解を育成する。
- iv. 2005年にジュネズで開催されるWSISの第二期で考慮と適切な行動をとれるよう、この活動の結果を報告書にまとめて提出する。

政府は、以下を奨励される：

- i. 国内と地域におけるインターネット・エクスチェンジ・センターの確立を促進する
- ii. それぞれの国別トップレベル・ドメインネーム(ccTLD)を適切な形で、管理ないし監督する
- iii. インターネットについての意識を啓発する



# 会議は続く！

---

2月18 - 27日 APRICOT2004 クアラルンプール

2月26 - 27日 ITU インターネットガバナンスWS

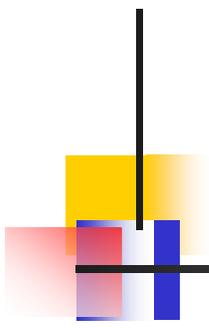
3月 2 - 6日 ICANN ローマ WSIS WS

3月25 - 26日 国連ICT TFインターネットガバナンスRT  
(ニューヨーク)

6月？ WSIS II PrepCom1 (ジュネーブ？)

7月19 - 23日 ICANN クアラルンプール

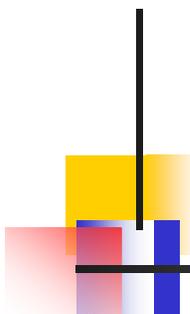
12月1 - 5日 ICANN ケープタウン



# グローバルなガバナンス制度

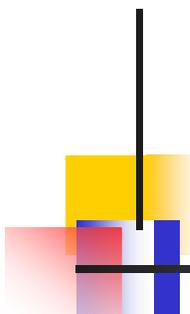
---

- 以下のサイクルを繰り返す：
  - 設 計
  - 構 築
  - 運 用
  - 評 価
  - 修 正。。。。



# 新たな制度と理論の研究が必要

- 現実に、どの制度ならどういうメリット・デメリットがあるのか
- 移行コストは？
  - 現在のテクノロジスト主体
  - ネット業界の主体性アップ
  - 利用者の参加アップ
  - 既存国際機関に移転
  - 枠組変更 = 国際組織の創設
- それを支える理論的枠組みは？

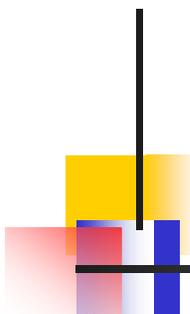


# ガバナンスの基本： 自律・分散・協調原理

- そもそもインターネットとは、
  - <自律・分散・協調システム>
  - エンド・ツー・エンドネットワーク
  - エッジの自由
- この基本原理に最適のガバナンスが必要
- このtechnical realityを無視して「管理」はできないはず
- エッジ = 利用者の存在が重要

# エンジニアと市民の相互協力を可能とする原理は？

- <エッジの自由>の確保
- 日本で、モデルをつくり、実践して主張することが重要
  - 自律分散協調 / マルチステークホルダーで
  - 技術者、企業、利用者が協調、政府は理解と支援を
- アジア：多元的な価値観：多数は多数のままで？

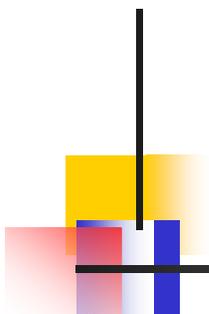


# ICANN

## ユーザーの関与が必要

---

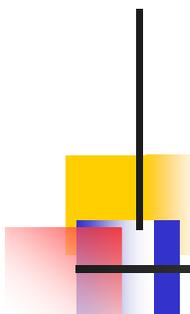
- 政府の批判: 公共政策は、技術者ではなく、政府(国民の代表)が扱う
- 民間で自主的にガバナンスを成立させるには、供給側と需要側の双方の参加が必要
- そのためには、ユーザーの関与が必要
- そうでなければ、政府の規制・介入が発生



# なぜユーザー参加が必要か

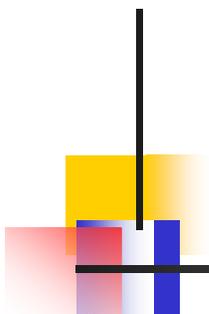
---

- 当事者だから
- 利用者の声はどこに？ だれが影響を受けるの？ WhoIs、SiteFinderの例
- 「エッジの自由」の主体だから
- <政府・国際機関> が規制するのではなく
- チェック・アンド・バランス



# 個人で本当に参加できるの？

- 個人ユーザーを代表するのは誰？
  - 「個人」を理解している<専門家>が必要
    - 経済学者 = 公平競争、資源配分
    - 法律家 = 社会的公正、権利用語
    - 消費者団体
    - ネティズン
- ユーザーグループが必要
- 政府(公益の代表)、産業界(顧客)の理解と協力も不可欠



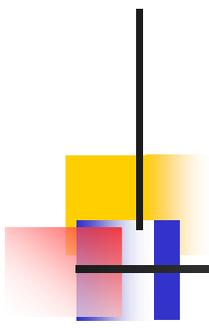
# ユーザーグループが必要

- ネットのガバナンス = 市民社会の参加が必然
  - 民間業界の「自主規制」になればなるほど
- 国内ガバナンスでも利用者参加が重要
  - ドメイン名、IPアドレスは「独占」？
  - プライバシー（相互監視の時代にどうする？）
  - ウィルス、スパムの被害は？
  - テクノコミュニティーだけに任せるのではなく
- 自律・分散・協調型で

# ICANN

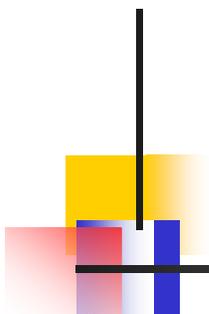
## アジアでALをどうつくるかが課題

- ALAC (At-Large Advisory Committee) にアジアから参加
- 日本とアジアでの組織化が必要
  - 政府・産業界と共通の利益を踏まえて
- ALSの立ち上げが先決
  - 既存のグループ: ISOC支部、ユーザーグループ...
  - 新規グループ? : JAPAN ICANN Forum再構成?
- RALOの形成へ
  - 2カ国以上、3団体以上のALSで構成、ICANNとMoU
- 資金はどうするの?
  - 現在はボランティア、、とても続かない!
- なぜALに参加する必要があるの?



# アジアのユーザーにとっての課題

- 国際ドメインネームの導入
- 新gTLDの導入
- WHOISデータベースの個人情報とプライバシー
- ENUM: 電話番号のドメインネームへのマッピング
- IPv6 導入？
- 国別TLDの管理体制問題
  - 自由化、政府の関与…
- その他？



*Thank you and See you online*

---

ご清聴ありがとうございました  
今後のご支援・ご協力、  
どうぞよろしく申し上げます

会津 泉

izumi@anr.org

ハイパーネットワーク社会研究所  
国際大学GLOCOM